

被災古墳の復旧について

☎ 社会教育課 文化係
☎0968・34・3047

平成28年熊本地震や豪雨、平成31年1月に和水町を震源とする地震によって、本町を代表する古墳である江田船山古墳及び塚坊主古墳が被害を受けました。約3年間で、和水町は震度5弱を2回、震度6弱を2回受けたことになります。約1,500年前に造られたこれらの古墳は、経年劣化しながらも保存活用のための整備を受け、現在までその姿を保ってきましたが、現在亀裂等が生じています。

和水町では、これらの古墳に対して、被災前の姿に戻し、さらには次の災害に備えるために、復旧事業を進めています。この事業には、普段文化財を担当する学芸員の知識では足りず、保存科学及び構造力学などの意見も参考にするため、多分野の専門家からなる委員会を設置し、復旧方法等に関する審議を重ねています。令和5年度は、令和4年度に引き続き、亀裂や崩落が生じた江田船山古墳の石棺石材調査と、墳丘と保護施設に亀裂が生じた塚坊主古墳の墳丘確認発掘調査を行っています。

熊本地震で被害を受けた指定等文化財のうち、約93%が復旧済みとされていますが、残りの未復旧文化財に本町の古墳が入ります。保存環境等にも注意が必要な古墳の復旧は難しく、復旧工事が新たな被害に繋がることなく後世に残せるように、慎重に進める必要があります。加えて、次にいつくるか分からない地震にも備えるため、慎重さとスピード感を持って復旧事業を進めていますので、ご理解をお願いします。



江田船山古墳石棺調査の様子

おうちで食べたい給食レシピ！ 「ひじきふりかけ」



【材料（1人分）】

ちりめんじゃこ…………… 15g
A 〔ごま油…………… 小さじ1/2
乾燥ひじき…………… 6g
B 〔こいくちしょうゆ…………… 小さじ1
みりん…………… 小さじ1/2
三温糖…………… 小さじ1強
水…………… 適量（かぶるくらいの水）
いりごま…………… 小さじ2

【作り方】

- ① ひじきを水で戻す。ちりめんじゃこはごま油で炒め、取り出しておく。
- ② ひじきをBと一緒に炊く。水分がなくなったら、ちりめんじゃこ・いりごまと合わせて完成。

ひとくちメモ

ひじきは海藻類の仲間です。骨を強くするカルシウムや腸の調子を整える食物繊維が豊富に含まれています。海藻は不足しがちな食品の一つなので、意識して食事に取り入れましょう。

【「まごわやさしい」食材を食べましょう！】

「まごわやさしい」は、食材の頭文字をとったもので、「ま」…豆や豆製品、「ご」…ごまなどの種実類、「わ」…わかめなどの海藻類、「や」…野菜、「さ」…魚、「し」…しいたけなどのきのこ類、「い」…いも類、のことです。日本で昔から食べられてきた食材で、食べると栄養のバランスが整いやすくなります。

文芸広場

肥後狂句
思いもよらん 生命線な なかとこれ
さてさて ホントのワルはどっちだろ 庄山 道草
さてさて 何処からしよか草の山 池上 沢庵
知らぬが仏 ままもとサギにひっかかり 福永すみれ
どうあるか 男女同権主夫しとる 井上りんどう
どうあるか いつかはばれる化けの皮 瀬上 歌子
筋トレ 介護の世話にならんごつ 二瀬 桔梗
惚れとらす トシに関係あるかい 池田 茜
惚れとらす どぎやんもならん片思い 高木せいや
石原かわせみ

かなしき原俳句会
余生尚夢ある日々や雲の峰 貞子
昔日の夢呼び覚ますはたた神 誠一
梅雨出水過去も未来も削りたる 明
一村の元気のあかし大青田 康子
待つといふ時の静けさ蟻地獄 弘子
菊水俳句会
老いたれば敗戦を経て反戦へ 池田 松子
台風の来る前の風生温く 宮中 康雄
遠く近く揃うことなき蟬の声 本田美穂子
ひさかた 夕立の来て蟬は去り 嶋田 俊一

～中山間農業奮闘記 vol.14～

町内では旧三加和地区を中心に酒米である「山田錦」が約20ha作付けされており、これらは「花の香酒造」で使用されています。この品種は、背丈が高いため倒れやすく、病気や害虫にも弱いので、一般的な「ヒノヒカリ」に比べて作りにくい品種です。そのため、三加和普通作部会では、7月21日、中干し作業や間断かん水の重要性について現地検討会を実施しました。参加者からは倒伏防止や収量増加・品質向上に向けた穂肥（ほごえ）の質問があり、有意義な情報交換が行われました。

また、最近農作業事故発生が相次いでいるため、農作業前には機械の点検やほ場の状態を確認することや、熱中症対策など夏場の体調管理についても参加者全員で情報共有しました。



現地検討会の様子

農業用語の解説

【間断かん水】
稲の成育途中に、田に水を満たした状態と、水を落として干した状態を数日おきにくり返すことです。
【穂肥（ほごえ）】
稲の栽培で、もみ殻の中で米の粒が成長する時期に吸収しやすい窒素分を主体とした肥料を与えることです。

和水町公民館図書室だより

☎ 中央公民館図書室 ☎0968・86・2022
三加和公民館図書室 ☎0968・34・3047

開館午前9時～午後10時（年末年始除く） 1回につき1人5冊まで、2週間借りることができます。

9月29日は、「招き猫」の日です。「くる（9）ふ（2）く（9）」（来る福）の語呂合わせで、日本招き猫協会が制定したものです。猫を題材にした本は、たくさんあります。公民館図書室にも、絵本から大人向けの本まで取り揃えてありますので、ぜひご来館ください！



「猫のお告げは樹の下で」

（著者：青山美智子）

人生に悩んだ7人が出会った、神社に現れる不思議な猫「ミクジ」。そんなミクジのおかげで、人生が好転するちょっぴり変わった心温まる物語です。猫のお告げが導く、7つのやさしい物語。読む人の心にも、きっと寄り添ってくれるのではないのでしょうか。



「ねことはな」

（著者：岩合光昭）

身近な猫を40年以上ライフワークとして撮り続けている著者だからこそ、心癒されるステキな写真が満載です。季節ごとの美しい花々と猫の写真に「ほっこり」して下さい。